

コベルコ地域社会貢献基金

～ 2021年度の取り組み①～

神戸製鋼の創立100周年を機に「コベルコ地域社会貢献基金」が創設され、2021年度で16年目になりました。この基金を通じてKOBELCOグループではこれまで、未来を担う子どもたちを対象に、その育成に関わる施設や団体が必要とする学習道具や生活用品などを寄贈してきました。

この活動は、グループ企業理念「KOBELCOの6つの誓い」のうち「地域社会との共生」を体現するものです。今回は、各事業所・各社の担当者から、実感している地域とのつながりや活動の意義、支援先の声などを寄せてもらいました。今号から2回に分けて紹介していきます。

神戸製鋼・福知山工場

心理療育施設へ卓球台、フットサルゴール、児童遊具などを寄贈

担当者の声

発達障害のある子どもや、虐待を受けた子どもの保護施設など、社会的弱者となり得る子どもたちの支援を中心に活動を行ってきました。プライバシーの関係で直接会う機会は得られなかったものの、支援品を通じてひと時でも多く生きていることの喜びを感じてもらえればと思い活動を続けています。



(総務室 新井 茂之)

神戸製鋼・神戸総合技術研究所

社会福祉協議会へ教育玩具を寄贈

担当者の声

神戸市西区には20以上の子育てサークルがあり、親同士のつながりを広げる目的でさまざまな活動を行っています。2019年度から贈り続けている、0歳児でも遊べる玩具や遊具は大人気で、大いに活用されています。



(総務室 西島 太郎)

神鋼造機

小学校へ図鑑を寄贈

担当者の声

この活動に2012年度に初めて参画して以来、今回の支援で10回目の節目を迎えました。2018年度までに大垣市内全ての幼稚園へピクニックガーデンハウス(遊具)を寄贈し終え、2019年度からは小学校に図鑑を寄贈しています。今後も地元の子どものためにKOBELCOグループの一員として、小学校などにおける子どもの育成を支援していきたいと思っております。



(総務室 石川 菜穂子)

ジャパンスーパーコンダクタテクノロジー

図書館へ科学系書籍を寄贈

担当者の声

北九州市立中央図書館併設の子ども図書館への蔵書寄贈を毎年行っています。2021年度は“Withコロナ時代”の子どもの読書活動や学習機会の確保などの目的で、4月から開始された子ども電子図書館へ科学学習図書等を贈りました。

(企画管理部 田中 翔)

神戸製鋼・真岡製造所

小中学校へ熱中症指数(WBGT)測定器を寄贈

担当者の声

近年の夏は暑さが厳しく、炎天下では元気な子どもたちがダウンすることも…。体育の授業では運動環境の把握が求められており、子どもたちが安全に事故なく学べるよう、市内の小中学校に熱中症の予防に役立つWBGT測定器を贈りました。

(総務室 橋本 力)

神戸製鋼・茨木工場

児童発達支援センターへ砂場遊びセット、図書館へジョイントマットを寄贈

担当者の声

地域の皆さまへの感謝の意を表し、地域社会に貢献することを目的に支援を続けています。支援先から「子どもの創造力、語彙力、共感能力の向上が期待でき、学童保育室での生活がより充実したものになりました」との感想が寄せられ、地域社会との共生を実感しています。



(総務室 坂田 匡史)

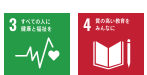
神戸製鋼・加古川製鉄所

幼稚園へ遊具を寄贈

担当者の声

コベルコ地域社会貢献基金の活動をしていて本当にうれしく感じるのは、子どもたちのあどけない笑顔を見る時です。遊具で楽しそうに遊んでいる姿は何とも言えません。これからも支援活動を通じ、いつもお世話になっている地域社会に少しでも貢献できればと思います。

(総務室 大崎 和彦)



コベルコ地域社会貢献基金の活動は、SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標4「質の高い教育をみんなに」、目標10「人や国の不平等をなくそう」の実現にもつながっています。

コベルコ地域社会貢献基金 ～ 2021年度の取り組み② ～

「コベルコ地域社会貢献基金」は、子どもたちを対象にした地域の施設や団体へ物品などを寄贈する取り組みです。前号に引き続き、2021年度の各事業所の活動を担当者の声とともに紹介します。

神戸製鋼・大安製造所

いなべ市へ障がい児用の室内備品や遊具などを寄贈



担当者の声

いなべ市では、障がいのある子どもやその家族に寄り添う支援施設を市役所敷地内に設置しています。当事業所として前向きな活動に賛同し、施設の充実に向けた支援を行いました。支援先から「スポットを当てていただき感謝致します!!」との声をいただきました。(総務室 高倉 和起)

神戸製鋼・神戸線条工場／神戸発電所

灘区の保育所等へパソコンなどを寄贈
東灘区の青少年育成協議会へ表彰式に使用する物品購入費を寄付

担当者の声

支援先からの手紙などで、子どもたちが楽しそうに遊んでいる姿を見て、本活動が地域の方にとっても喜ばれていることを実感しています。これからも、より多くの子どもたちに笑顔を届けられるよう継続していきます。(総務室 市来 大典)



神戸製鋼・高砂製作所

子育て支援センターとこども園へ、玩具や絵本などを寄贈

担当者の声

新型コロナウイルス感染予防に必要なもの、アルコール消毒によって痛んでしまった玩具の買い換えなどの要望に応える支援としました。各施設からはお礼の言葉をいただき、コロナ禍において行動制限がある中、子どもたちに良い思い出をつくるため日々試行錯誤されている先生方にも、少し役に立てたのではないかと思います。(総務室 陣川 真也)



神戸製鋼・藤沢工場

子育て支援センターへ知育玩具などを寄贈

担当者の声

子どもの想像力を高め、自分以外の人と遊ぶことで会話能力も高まることを願い、子育て支援センターに「ままごとセット」を寄贈しました。市長からの感謝状授与式で保育施設に伺った際に、贈った遊具に子どもが飛びついて遊び始めたのを目の当たりにし、うれしさと同時に「地域社会貢献」という言葉を実感できました。(総務室 植木 太郎、長野 夕起子)



神鋼機器工業

児童養護施設へ図書室の本棚を寄贈

担当者の声

子どもたちが心身ともに健やかに過ごせるように、地元児童養護施設に本棚を寄贈し、増設に役立てていただきました。これにより本の整頓と遊び場の拡充ができました。皆さんが喜びあふれた表情を見せてくれたことで、選定の苦労も吹き飛びました。(企画管理部 鎌田 章寛)



神戸製鋼・長府製造所

子育て支援センターへ木製ままごとセット、加湿空気清浄機、オゾン除菌消臭器などを寄贈

担当者の声

乳幼児期に欠かさないごっこ遊びができる「木製ままごとセット」と、見て、聞いて、楽しめる大型絵本を子育て支援センターに寄贈しました。ぜひ、親子で楽しんでいただきたいです。(総務室 齊藤 成美)



神戸製鋼・神戸本社

児童養護施設へ絵本や教本など、母子生活支援施設へDVDプレーヤーなどを寄贈

担当者の声

児童養護施設と母子生活支援施設に知育物などを寄贈しました。本基金での支援を通して少しでも子どもたちの笑顔に貢献できるよう、今後も取り組んでいきます。支援先からは手紙や写真などをお送りいただき、とても感謝されていることを実感できることが、この活動を行っているうれしいことです。(総務・CSR部 渡邊 亮介)



神戸製鋼・西条工場

子育て支援センターへままごとキッチン、おもちゃ交換スタンドなどを寄贈

担当者の声

東広島市には子育て支援センターが10カ所以上あります。保健師や保育士への相談の場として、さらには妊婦さん、子育て中のご家族、地域の子育て応援者の皆さんが集う場として活用されており、今回贈った玩具などもたいへん喜ばれています。(総務室 立石 寛治)



神戸製鋼・高砂製作所 播磨地区

障がい児支援団体とボランティア団体へ、活動に必要な材料などを寄贈

担当者の声

地域の子どもたちが、播磨町内の河川に生息する生き物の観察や、魚取りなどを通じた水辺に関わる環境教育の活動に必要な材料を寄贈しました。また、親子でキャンドルアートの構成や創作を行うアートイベントに、各種装飾品を寄贈しました。(総務室 榎村 方伸)



関連するSDGs目標

